

●スマホ、パソコン出張教室やっています

まち協だよりの6月号でもご案内しましたが、現在山上まちづくりの会ではスマホ・パソコン出張教室をやっています。受講を希望の方は、金曜の午前中までに連絡をください。教室は、土曜か日曜におうちに伺って行くこともできますし、山上地域振興センターで受けることもできます。知人には聞きにくい事でも遠慮なく聞いてください。同じ事を何度でも、わかるまで、ゆっくりとお助けしますのでご利用ください。



●山上カフェ お気軽にご利用ください

靴を脱がなくても休息してもらえよう、玄関軒下の内外にもテーブルを出しています。冷たいお茶も提供しています。

←夏のとある日に、にちなん十色山上分園の子どもたちが山上カフェに水筒をもって遊びにきてくれました。日陰の風通しのよいカフェで、みんな元気いっぱいでした！



●調理室・第2会議室の営業許可の継続手続きをしました



調理室の営業許可が令和7年8月で失効するため、新たに9月から5年間延長継続する手続きをしました。

これまで坪倉幸徳さんに管理責任者をお願いしていましたが、この度福万来の大塚仁美さんに食品衛生責任者資格を取得してもらい、これから5年間の調理室管理責任者になっていただくことになりました。

また調理室の営業許可(菓子製造・総菜製造)を延長するにあたり、保健所の指導で古い洗濯機を撤去し水道の蛇口を2箇所レバー式に取り替えました。

坪倉幸徳さん、長い間ありがとうございました。

大塚仁美さん これからよろしくお願いいたします。

●今の暮らしが当たり前だと思わないよう

終戦の日を前に、事務長と集落支援員で忠魂碑、内藤岩雄歌碑周辺の草刈りをしました。太平洋戦争が終わり今年で80年になります。海外では戦争が続いていますが、日本の今が新たな戦前ではないことを祈りつつ、故郷の英霊に感謝したいと思います。9月末までは猛暑が続きます。熱中症には十分注意してお過ごしくださいませ。



学校に別れを告げる 19

こうした長年にわたる村を育てる取り組みが認められて、大正十三年一月には、宮内省から社会教育功労者の表彰を受け、銀のさかづきと二百円の褒賞金^{ほうしょうきん}をいただくことになりました。

神主でもあった岩雄は、特に天皇陛下をうやまう気持ちが強かっただけに、このたびの受賞はことのほか嬉しく、感激もまた大きなものでした。

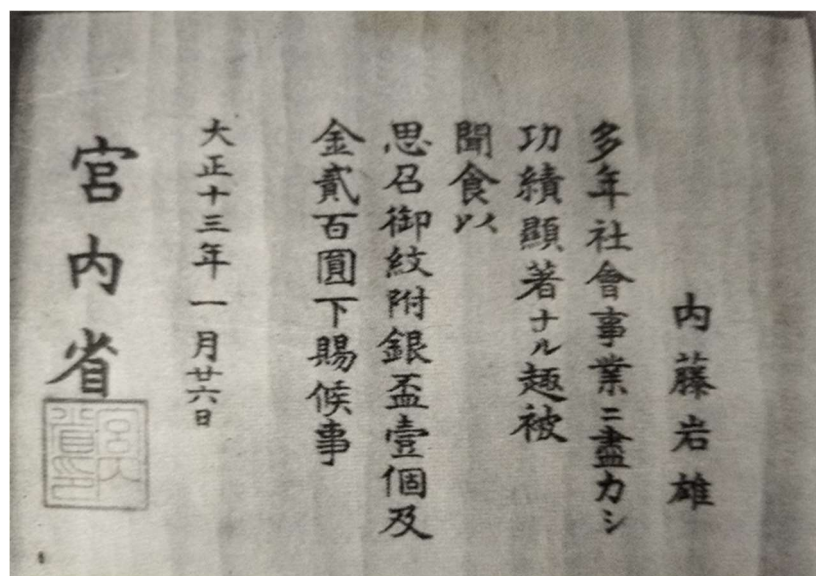
ちょうど同じころ、皇太子殿下が京都にこられると聞いた岩雄は、陰ながらお礼を申し上げたいと、先に教え子たちから贈られたフロックコートにゴム靴という出で立ちで京都まで出かけていき、皇太子殿下の一行をお迎えしました。

この表彰を機会に、岩雄は学校をやめることを考えるようになりました。

学校に勤めていたのでは、本当に自分がやりたいこと、やらなければいけないことが、思うようにできないような気がしたので

す。

それに、学校の方はだいたい落ち着いて、やらなければいけないことはだいたいできたようです。幸いに、後を譲るのにはちょうどよい木村正義^{まさよし}という先生があつたので、あとを引きついでもらうことにしました。この先生とは九年間も同じ学校と一緒に勤めて、^{つと}「この先生なら自分のあとを引きついで立派にやってくれるだろう。」という思いがありました。



秋のある日、授業のおわった木村先生を校長室によんで、気持ちを打ちあけて話しましたが、木村先生は、かたく断つてどうしても受けようとはされません。

「私は、私の教育精神を引き継いでくれる人に後を譲って、家の神職^{しんしよく}をついで神主^{かんぬし}をしながら、どうしてもしなければいけない仕事がある。どうか、バトンを受けて山上の教育のために頑張ってください。私は学校をやめても、学校のおじいさんとなつて、外から協力して助けますから。」

岩雄は、自分の考えをいって、繰り返しお願いをしました。

村の人達も、話を聞いて、考えなおして校長を続けるようにと熱心にすすめましたが、岩雄は、最後には、「わたしは、もう着る洋服がなくなったからやめるのだ」と冗談をいって、すべての話を断つて、木村先生に後をお願いして、大正十四年四月、学校を去っていききました。